

# What's New !

**2024年12月26日** **教育課題研究4巻(2024年)を発刊しました**

教育課題研究4巻(2024年)を発刊しました。[こちら](#)

**2024年12月26日** **ICT機器を活用した授業の様子**

ICT機器を活用した授業の様子を公開しました。その様子は[こちら](#)。

**2024年12月21日** **亀山市教育研究部推進協議会主催 第3回一斉研修会：上野先生**

11月13日(水)、亀山市立関小学校にて亀山市教育研究部推進協議会主催の第3回の一斉研修会が開催され、講師として参加させていただきました。当日は、亀山市立関小学校の1年生の授業(本学教育学部出身の豊田陸人先生)を参観後、グループ討議、講演という流れで会は進みました。若手の先生も多く参加されており、非常に活気のある研究会となりました。

**2024年12月21日** **模擬授業@恵那高校：上野先生**

12月12日(木)に岐阜県立恵那高等学校1年生総合探究「社会課題の取り組もう」の教育分野において、模擬授業等を行いました。「教育とは」「教師の仕事とは」「よい授業とは」について、付箋を用いてワールドカフェ方式で講義を進めていきました。どの生徒も熱心に課題に取り組んでいました。今後は3つのテーマに沿って研究・探究を深めていき、令和7年2月に発表会を行いました。どのような発表になるのかとても楽しみです。



次のページに続く

2024年12月21日

教育分野についてのガイダンス@四日市西高校：上野先生

12月18日（水）に三重県立四日市西高等学校1年生20名に対して、教育分野についてのガイダンスを行いました。今回はワールドカフェ形式で授業を進めていきました。付箋を用いて「教育とは」「教師の仕事とは」「教師の魅力とは」「教師不足を解消するために」についてそれぞれ考えてもらいました。その後、教育学部で学ぶこと、取得できる資格、卒業後の進路等を具体的に話をしました。



2024年12月21日

「探究的な学習プラン」の授業実践についての講演@津市立橋北中学校：上野ゼミ

12月4日（水）に津市立橋北中学校1年生（先生方含む）約200名に対して、「探究的な学習プラン」の授業実践についての講演を行いました。今回は2年生のゼミ生11名（数理教育コース7名、初等教育コース4名）も参加しました。

身近な図形を題材にして、「図形の敷き詰め」について考えました。三角形、四角形、さらに正多角形を用いて、どれとどれの組合せを用いれば敷き詰めることができるか、またそのための条件について考えてもらいました。2時間という短い時間の中でしたが、生徒たちはしっかりと問題に向き合い、また仲間と相談し合いながら取り組んでいました。参加した学生の感想は添付ファイルの通りです。👉感想

2024年12月21日

東京学芸大学高校探究プロジェクトに関わる公開授業への参加：上野先生

10月29日（火）に立命館宇治中学校・高等学校にて東京学芸大学高校探究プロジェクトの一環として公開授業が実施されました。島野恭兵先生の数学Aの授業、酒井淳平先生の数学Ⅲの授業を参観し、その後研究協議を行いました。参加者のさまざまな視点から授業改善に向けての意見がたくさん出て、価値ある公開授業となりました。

次のページに続く

**2024年12月21日**

**文部科学省高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール) :上野先生**

今年度より採択されました文部科学省高等学校 DX 加速化推進事業 (DX ハイスクール) の関係で、三重県立昴学園高等学校にて出前授業を月に1回程度行っております。今回は高等学校数学B「確率分布と統計的な分析」についての導入として数学Iのデータの活用の内容をもとに授業を行いました。平均だけでなく、中央値や最頻値、箱ひげ図などを用いながら実際にパソコンを使って表やグラフを作成しました。やはり、現実的な値を用いることで生徒は日常生活に即した見方や考え方をすることができており、主体的に取り組んでいました。



**2024年12月19日**

**4教ミュージカルの開催決定**

4教ミュージカルの開催が決まりました！

会場： 皇學館大学記念講堂

日にち： 2025年3月8日(土)、9日(日) 14:00～(開場は13:30～)

詳細は、こちらのポスターをご覧ください。👉 [4教ミュージカルポスター](#)

4教ミュージカルの Instagram もあるのでフォローをお願いします！

**2024年12月16日**

**Instagram はじめました**

教育学部公式 Instagram はじめました。何気ない日常やイベントの活動報告などをアップしています。皆さん、フォローをお願いします。

次のページに続く

2024年12月16日

竹林正樹先生の講演会：教育学会

12月14日（土）に、テレビ等でもおなじみの竹林正樹先生に、NUDGE（ナッジ）についてのご講演をいただきました。講演会の詳細についてはこちら。



次のページに続く

2024年12月11日

## アジア生物教育協議会にて Best Presentation 賞を受賞

10月12日～14日に愛媛大学で開催されたアジア生物教育協議会第29回隔年会議に参加し、本学大学院生、学部生と共に教員、卒業生、中学生が研究成果を発表しました。

本学非常勤講師の奥村雄暉氏は高等学校生物基礎における蛍光インクを用いた食作用の観察実験と授業実践、卒業生で小学校教諭の松谷広志氏は小学6年生理科の生物と環境についてレゴブロックと昆虫を用いた教材開発、本学の澤友美は生活科の自然観察に関する教材開発と授業実践について発表しました。そこで、奥村氏、松谷氏、澤は優れた発表に贈られる「Best Presentation 賞」を受賞しました。また、本学の中松豊教授が指導する三重ジュニアドクター育成塾の受講生（中学2年生）も中高生ポスター発表部門で寄生蜂の行動に関する発表を行い、見事「Best Presentation 賞」を受賞しました。今後の活躍に期待しています。



次のページに続く

2024年12月11日

## アジア生物教育協議会第29回隔年会議にて学部生と大学院生が発表しました

10月12日～14日に愛媛大学で開催されたアジア生物教育協議会第29回隔年会議に参加し、本学大学院生、学部生、教員、卒業生、中学生が研究成果を発表しました。大学院2年生の二宮功至さんは「Practice of visiting lesson for 6th grade elementary school students on the material cycle in ecosystems using LEGO blocks as molecular models」と題して、レゴブロックを用いた小学6年生に対する理科の出前授業実践成果をポスター形式で発表しました。

また、教育学部3年生の岡田寛汰さん、長和華さん、國富恵詩郎さん、汲川紗凡さん、中野優子さん、4年生の古川拓城さん、見並大輝さんが中松豊教授と共にアワヨトウ、カメムシ、寄生蜂などの昆虫を用いた教材を紹介するワークショップを行いました。フィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア、インド、韓国、シンガポールなどアジアの国々から生物教育に携わる研究者らが集まり、学生らは英語で活発な意見交換を行うことができました。こうした貴重な経験が参加した学生一人ひとりの自信に繋がるものと期待しています。



次のページに続く

2024年12月10日

お伊勢さんマラソンに参加しました：健康科学研究室

12月8日（日）に、過去に健康科学研究室で開催した運動教室に参加された方々と一緒に、お伊勢さんマラソン（5km）に参加してきました。風があり、例年よりも寒く感じられましたが、天気に恵まれ、楽しく走ることができました。詳細は、健康科学研究室のHPをご覧ください（[こちら](#)）。



次のページに続く

2024年12月1日

「結びの神」を使った調理実践

おかげキャンパスプロジェクトの一環として、津市の中央公民館で三重のブランド米「結びの神」を使ったツナコーンご飯と、ご飯に合う鶏つくねの親子調理教室を開催しました。

試食で「結びの神のご飯はもちもちする」との感想がきかれ、「冷めてもおいしい」などの説明を受けそれぞれおむすびにして帰りました。2年ゼミ生と4年ゼミ生が参加しましたが、ゼミ生も親子の姿や関わり方を学ぶ非常によい機会となったと話していました。



次のページに続く

2024年12月1日

幼稚園での食育実践（四日市市・大矢知幼稚園）

研究の一環として、幼稚園における継続的な食支援「親子で調理することで食への関心を高め、保護者の素材（加工食品ではない料理の食材）から簡単に作ることができる献立への理解を深める」の実践を、四日市市の大矢知幼稚園で行いました。全園児の保護者が参加し、「餃子皮で作るピザ」と「ミネストローネ」という野菜たっぷりの調理を行い、味に関しては「おいしい」ということばが聞かれ、「家でも作りたい」という声もありました。今後も継続して行って、情報発信をしていきます。



次のページに続く

2024年11月25日

レクリエーション大会を開催：4年生

令和6年11月7日（木）、クラス行事としてレクリエーション大会（ソフトバレーボール&ポッチャ）を開催。ゼミチームによるトーナメント戦で、白熱したゲームが繰り広げられました。事務職員チームも特別参加して、学生との交流を深めました。各自が審判や得点係を担当して、ゲームを進行。全員の協力のもと、円滑に大会が実施されました。

ソフトバレーボール決勝戦では、実力伯仲の接戦が展開しました。応援する側も手に汗を握り、自ずと声援に力が入ります。グッドプレーの度に大きな歓声が上がりました。ポッチャについては、戦略を立てて球筋を読んだチームが強かったです。頭脳プレーやスーパーショットに驚く場面がありました。予想以上の熱戦に会場が盛り上がりました。日を改めての表彰式では、相互に健闘をたたえました。

1～3年次はコロナ禍の影響により、スポーツ系のイベント開催が困難でした。4年生が一堂に会して、レクリエーションを楽しむのは初の試み。教室での様子と異なり、若さ溢れる澆刺した姿が新鮮でした！笑顔がはじけ、みんなで素敵な時間を共有できました。クラスが初めて一体となった感覚を覚えた次第です。

大学生活は残りわずか。思い出の1コマとして、本日の出来事が心に残ってくれたら嬉しいです。



次のページに続く

2024年11月25日

教職実践演習（初等）外部講師講演

本日の「教職実践演習（初等）」は、三重県教育委員会事務局研修推進課から林仁大先生をお招きし、三重県の教育政策の概要や教員として求められる資質・能力について講演いただきました。

講演では、県の教育政策の体系をうかがっただけでなく、学校現場に出たときに直面するであろう事象とそこでの考え方や行動、振り返りなどをディスカッションする機会もいただきました。受講者の多くは4月から教壇に立つ者です。実り多き機会となりました



次のページに続く

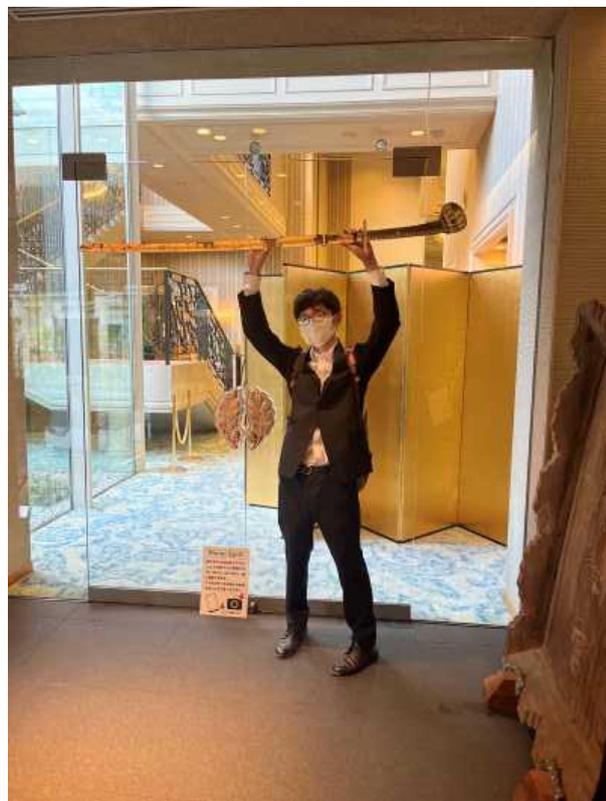
2024年11月11日

歴史散策（桜井市・橿原市）：教育史学ゼミ

令和6年11月5日（火）、研究室を飛び出して奈良県に出掛けました。午前には大神神社（桜井市）を参拝。三輪山を御神体として、古代祭祀を今に伝える境内には厳かな空気が満ちています。神職の方に、神社の起源や独特な形式の三輪鳥居について説明を賜りました。民間信仰や酒蔵に吊るされる杉玉に関するエピソードなど、興味深く拝聴しました。

摂社の檜原神社も参詣しました。元伊勢・倭笠縫邑【やまとのかさぬいのむら】の故地と伝えられ、天照大御神が祀られています。第十代崇神天皇の御代、皇女豊鍬入姫命【とよすきいりひめのみこと】が初代斎王・御杖代を託され、檜原の地で丁重に祭祀されました。その後、御杖代を引き継いだ第十一代垂仁天皇皇女の倭姫命【やまとひめのみこと】は、三輪の地から宇陀、伊賀、近江、美濃などを経て、伊勢の五十鈴川上流に御遷幸され、奉斎されました。御杖代を担われた皇女の労苦と神宮を創建された功績に敬服いたします。

三輪山の近辺には歴代天皇の御陵、纏向遺跡、卑弥呼の墓と推測される箸墓古墳などが点在しています。大和平野の景観を眺め、古代の王朝に思いを馳せました。午後には第一代神武天皇が御祭神の橿原神宮（橿原市）を訪問。参拝の後、宝物館を拝観しました。明治天皇と昭憲皇太后から下賜された刀剣や鏡のほか、黒漆塗の唐櫃、螺鈿の美しさに見入りました。企画展「描かれた神武天皇」では、神武天皇にかかる多様な画像資料と立体作品について解説されており、庶民から篤く崇敬されていたことを知ることができました。見聞を広め、実りある一日となりました。教職志望のゼミ生には、得た知識や経験を奉職後の教育活動に生かしてくれることを期待する次第です。





2024年11月6日

### 参拝見学

11月5日に、教育学部2年生全員で参拝見学に行きました。参拝見学は、「建学の精神をより確実に理解し、本学の伝統的学風をより深く体認するための大切な行事」として毎年行われています。神宮や神道・国学、日本の歴史にとって重要な意義のあるところを訪れ、なぜ伊勢に皇學館大学があるのか、皇學館大学はなにをめざすのかを確認します。

当日は、全員で5台のバスに分かれて移動し、外宮（豊受大神宮）と内宮（皇大神宮）を訪れました。内宮では御垣内参拝を行いました。御垣内参拝とは、正殿の周囲に巡らされた板垣の内側に入り、正殿により近い場所で行う特別な参拝です。

学生の感想より

- 鳥居を通り、木の中を歩いていると、時間がゆっくりと進んでいるように感じた。
- 内宮の宇治橋を渡っている時に見える五十鈴川がとても綺麗で、自然豊かだったため、心が癒された。
- 普段は入ることができないようなところに入ることができて、特別で貴重な経験になった。
- 神聖な場所に入ることによって、心が洗われたような感覚になり、精神的にリフレッシュすることができました。
- 自分自身の気をより引き締めて行こうと思いました。





2024年11月4日

フードパントリーの開催：駒田先生

今年度初めて、フードパントリーを開催しました。企業様からご寄付いただいた、たくさんの防災食と保存水を7号館前テラスで12時から配布しましたが、中には数袋欲しいという学生さんもいて13時前にはほぼ無くなりました。学生さんの口からは、「とても助かる」ということが聞かれ、食材費高騰の今日の状態を踏まえ生活の一助となる企画となったようです。防災食についても、いざというときに作り方がわからないと役に立たないので、防災への備えとしても意義ある活動でした。



2024年10月31日

子育て支援活動「びよびよ」で頑張っています！

幼児教育コースの学生が主体となって、地域の未就学児とその保護者を支援する子育て支援活動「びよびよ」。この活動は、本学の保育実習室で授業期間の水曜日午前中に行われています。秋学期は10月9日からスタートしました。

ちょうどハロウィンの時期なので、手遊びやシルエットクイズを楽しんだ後、白いオバケにシールを貼って、可愛いマントを作りました。

この活動を通して、学生たちは子どもの理解を深め、保育活動の実践力を向上させています。



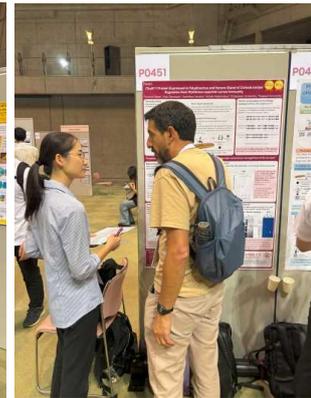
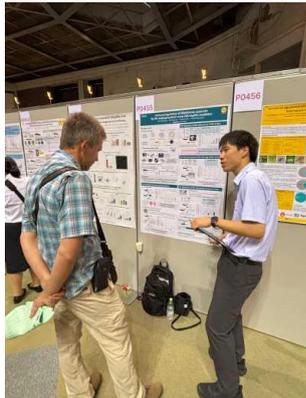
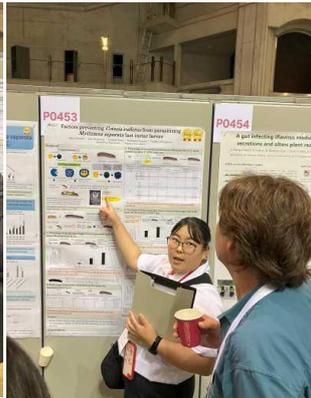
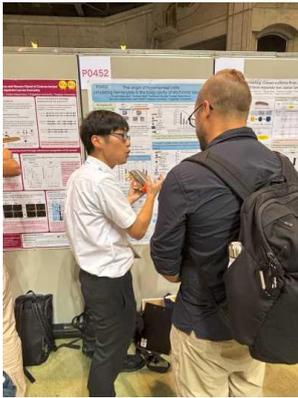
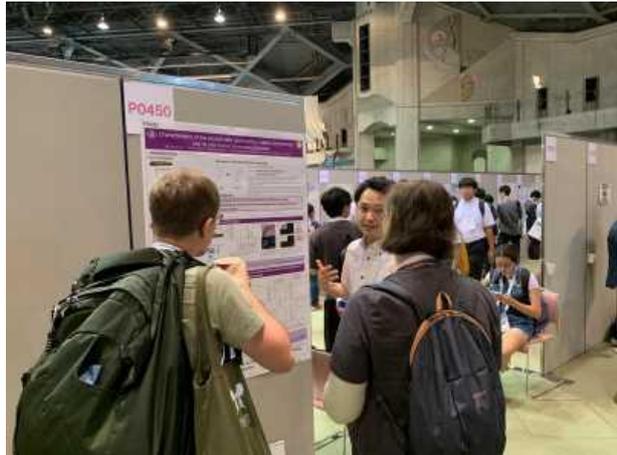
次のページに続く

2024 年 10 月 26 日

国際昆虫学会にて本学大学院生がポスター発表を行いました

8 月 25 日から 30 日に京都で第 27 回国際昆虫学会議(The 27th International Congress of Entomology (ICE2024 Kyoto))が開催されました。4 年に一度開催される本会議は昆虫に関する世界最大規模の学術会議で、オープニングセレモニーでは秋篠宮ご夫妻がご出席され、長男の悠仁さまが共同研究されてきた皇居内のトンボの生態についてもポスター形式で発表されました。

本学からは大学院生の二宮功至さん、本学卒業生で小学校教諭の田中美有さん、松谷広志さん、本学卒業生で非常勤講師の奥村雄暉先生、本学准教授の澤友美がポスター発表を行いました。二宮さんは「Immunoregulation of *Mythimna separata* by the endoparasitic wasp *Microplitis mediator*」と題して、アワヨトウ幼虫に寄生するキアシャガサムライコマユバチの免疫制御について、これまでの研究成果を発表しました。また、田中さんは 1065 題のポスター発表の中、優れた女性研究者に贈られる Presentation Awards for Women Scientist を受賞、快挙を成し遂げました。今後も研究活動に邁進して欲しいと思います。



次のページに続く

2024年10月23日

## いせスポーツフェスティバル 2024 に参加しました

10月14日、秋晴れのスポーツの日、スポーツの杜伊勢でスポーツフェスティバルが開催されました。（伊勢市のみならず志摩からも参加可能）このフェスティバルは、障がいの有無、年齢、性別に関わりなく同じ競技を楽しむ「インクルーシブスポーツ」としての大会で、授業の一環として160人を超える皇學館大学教育学部生がボランティアとしてCLL活動学生の指導のもち活動しました。学生自身も初めてのモルック、ポッチャ、車いすバスケットなどのインクルーシブスポーツに参加し、障がいのある方との交流を思いっきり楽しんだ一日でした。



次のページに続く

2024年10月15日

三重県教員採用試験の結果

2024年8月30日に三重県公立学校教員採用選考試験の結果が公表されました。今年も多くの皇學館大学生（既卒生も含む）が合格し、晴れて先生となりました。全校種・教科の合格者は143名と、過去最高の結果でした。

	本学の合格者数 (内、既卒生)	三重県全体の合格者数
小学校	107 (72)	270
中学校・国語	14 (11) *	26
中学校・社会	4 (3)	17
中学校・保健体育	5 (5) *	17
中学校・英語	5 (5)	27
中学校・理科	1 (1)	20
高校・国語	1 (1)	8
高校・地歴	2 (2)	6
高校・工業・電気	1 (1)	5
特別支援・小学部	3 (1)	15
合計	143 (102) *	414

\* 過去最高の合格者数

【注意】

※教育学部だけの合格者数ではなく、文学部も含めた本学全体の数です

※中学校・保健体育、中学校・理科の免許は、教育学部のみ取得できます

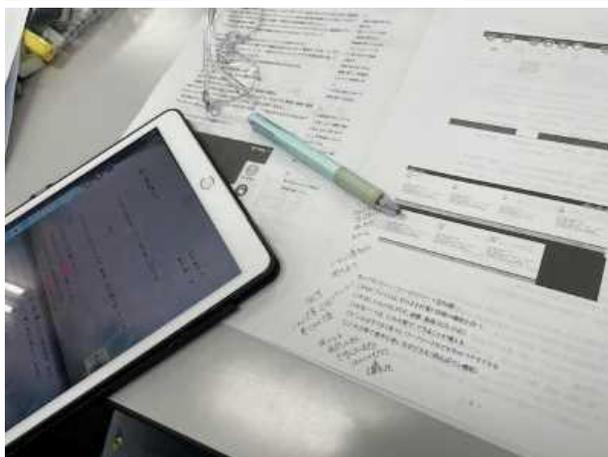
※本学では、高校・工業・電気の免許の取得はできません。合格者は本学卒業後に、他の施設で免許を取得し、受験していると思われます

次のページに続く

2024年10月7日

ICT教育特別講座が始まりました！！

10月2日（水）、令和6年度ICT教育特別講座が始まりました。「学校現場で使えるICT機器の活用」をコンセプトに実践的・体験的な講座内容が展開されます。受講生は、教育実習で感じたことや学んだことの再確認や4月から教壇に立つことに備えての準備のために参加しています



次のページに続く

2024年9月21日

皇學館 DAY@三重県総合博物館(MieMu)

厳しい暑さの残る中、皇學館 DAY が三重県総合博物館で開催されました。教育学部からは、中松、澤ゼミによる理科教育と、駒田ゼミによる「みえのお米とお茶ええやん」の2つが参加しました。お米とお茶の体験会場では、乳児から小学生までの親子連れ約 70 名が参加し、「急須で伊勢茶をいれる」「おかげ茶屋にある伝兵衛の 3 年物伊勢たくあんでおむすびを作る」体験を行いました。どの子どもも茶葉でいれる伊勢茶を口にするとおいしいとまず感嘆の言葉をあげ、さらに伊勢たくあんを混ぜ込んだおむすびも、「おいしいからご飯おかわり」との声が上がり、いずれも好評でした。参加者の中には学生が作成した掲示物を時間をかけて読んでくださる方もあり、学生にとってうれしい体験でした。



次のページに続く

2024年9月17日

「卒業生と在学生の交流会 2024」が開催されました：教育学会

8月3日（土）、「卒業生と在学生の交流会 2024」が開催されました。在学生に今後の学生生活を充実してもらうこと、将来へのモチベーションを高めてもらう（不安を払拭してもらう）ことを目的としたイベントでした。28名の卒業生がテーマごとのブースに分かれ、在学生に熱いメッセージを送ってくれました。学生時に頑張ったことや現在の仕事のやりがいだけでなく、給料・収入などリアルなお話をしてくれた人もいました。スキルアップも兼ねてアクティブラーニングをしたブースもあったようです。在学生にとって貴重な時間になるだろうと考え企画しましたが、卒業生からも「有益な時間になった」との感想をいただき、思いもよぬ成果もありました。来年以降も継続して実施できれば良いなと思います。



次のページに続く

2024年9月13日

皇學館中学との連携：駒田先生

9月12日、皇學館中学校の生徒14名が大学の調理室で「食物アレルギー対応のカレー」を作りました。まず最初に、教員の駒田から食物アレルギーが起きる仕組みや、その症状、日常生活で気を付けなければいけないことについて資料を用いて学びました。そのあとで4グループに分かれて、「米粉を使ったカレー粉から作るカレー作り」を行いました。みな慣れない手つきでジャガイモの皮むきや、野菜・肉を切ることにも挑戦し、そのあとは思い思いに野菜、肉を煮て、自分たちで味見をしながらカレー粉や塩、こしょうで味付けをしてカレーを仕上げました。初めての体験でしたが、皆とてもまじめに、そしてお互い協力しあいながら思い思いのカレー作りをし、それと共に食物アレルギーに対する知識を深めました。



2024年7月20日

卒業生との交流会—第4報：教育学会

卒業生との交流会第4報です。

プログラムが確定しました！ 第4報は[こちら](#)。

次のページに続く

2024年7月9日

## 卒業生との交流会－第3報：教育学会

卒業生との交流会第3報です。

来学してくれる卒業生が増えました。

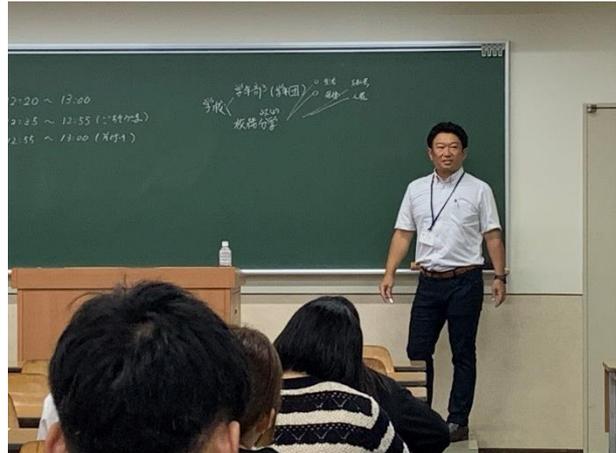
設定ブースに少し変更がありますので、プログラムの確認をお願いします。プログラムの詳細は[こちら](#)。

2024年7月9日

## 教員の魅力を語る

6月18日に伊勢市教育委員会事務局学校教育課の横山滋先生にお越しいただき、教員の魅力についてお話しいただきました。

事前に学生から得た質問に対してカテゴリー分けをしていただき、一つ一つ丁寧に答えていただきました。事前アンケートから「教師の残業時間」、「保護者対応」、「授業準備」、「教員同士の連携」など学生が抱く多くの不安が見受けられました。それに対して、横山先生は現在の現場の取り組みやご自身の経験を話していただき学生の不安の解消につながったと思います。



2024年7月9日

## 本学卒業生&非常勤講師の奥村雄暉先生の研究成果が国際学術雑誌に掲載されました

本学の卒業生で皇學館大学非常勤講師（担当科目：児童理科）の奥村雄暉先生は寄生蜂カリヤサムライコムバチ幼虫の漿膜細胞が寄主の免疫を制御するメカニズムを解明しました。奥村先生は本学大学院を修了後も寄生蜂の研究に従事され、積極的に国内外の学会等で発表するなど精力的に活動されています。

本研究は、Elsevier社の科学雑誌「Journal of Insect Physiology」（2024年5月20日）に掲載されました。

### 論文情報

Yuki Okumura, Tomomi Sawa, Toshiharu Tanaka, Yutaka Nakamatsu (2024) Characterization of the serosal cells surrounding Cotesia kariyai larvae and their role in host immunosuppression, Journal of Insect Physiology, 154 DOI : 10.1016/j.jinsphys.2024.104631

URL : <https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S0022191024000192?via%3Dihub>

2024年7月1日

## 卒業生との交流会－第2報：教育学会

来学してくれる卒業生が決まってきました。プログラムの詳細は[こちら](#)から。

ただいま調整中のところがあります。確定次第、順次アナウンスしていきます。

[次のページに続く](#)

2024年6月29日

卒業生との交流会（チラシ）

2024年8月3日（土）に開催される「卒業生との交流会」のチラシが出来ました。

# 皇學館大学教育学科 卒業生と在学生の 交流会 2024

8月3日（土） 13:30～18:00

開場 12:30

場所：皇學館大学（記念講堂 621教室 7号館等）

## Program

- 13:30～14:20 教育学部長講演  
「子どもの自己肯定感を育むために」  
教育学部長 渡邊賢二先生
- 14:30～15:15 交流会①
- 15:20～16:05 交流会②
- 16:30～18:00 懇親会

人数把握のため以下の  
Googleフォームに回答ください



詳細につきましては、決定次第manaba-教育学会でお知らせします

## 交流会ブース（予定）

小学校教員 幼保教員 中・高校教員  
特別支援学校教員 体育・スポーツ  
公務員 民間企業 大学院

◆主催：皇學館大学教育学部 教育学会

詳細はこちら

◆お問い合わせ：kyouiku@kogakkan-u.ac.jp



2024年6月27日

小学校教員採用試験二次対策講座を開催します

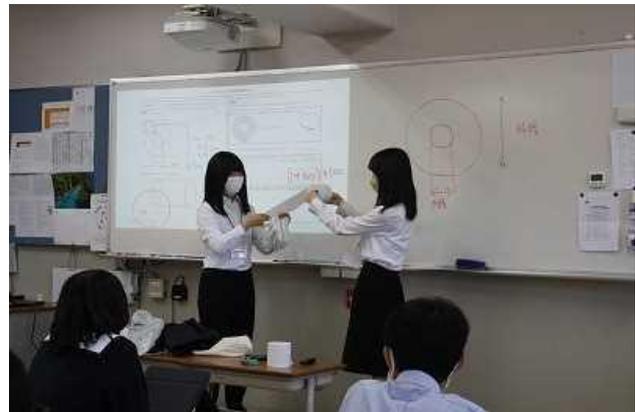
4年生を対象に、小学校教員採用試験二次対策講座を開催します。1～3年生は見学が可能です。詳細は[こちら](#)。

次のページに続く

2024年6月22日

### 皇學館中学校との中大連携事業：上野先生

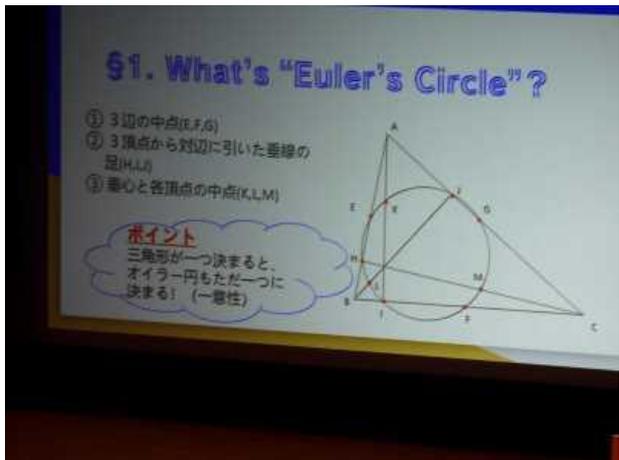
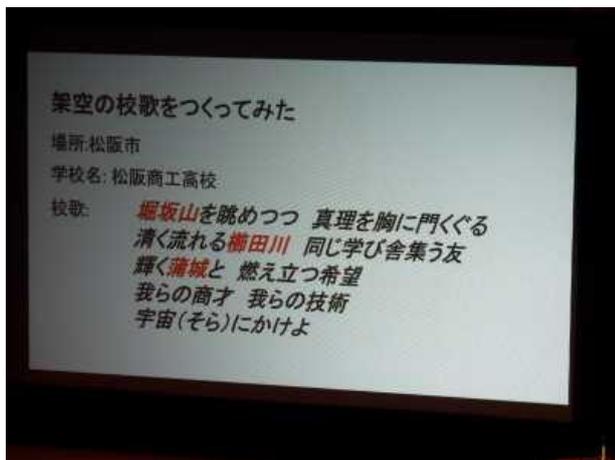
6月19日（水）、皇學館中学校『数学研究』の授業において今年度1回目の中大連携の授業を行いました。第1回目ということで、お互いが交流するような活動を取り入れながら、最終的には「トイレトペーパーと数学」というテーマで今回と次回に分けて活動していきます。今回より数理教育コースの2年生の学生も参加し、生徒と一緒に活動を展開していきます。



2024年6月22日

### 松阪高校 SSH 事業に参加：上野先生

6月18日（火）、三重県立松阪高等学校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に関わる発表会に来賓として参加致しました。当日は、ポスター発表優秀作8作品がそれぞれ舞台上でプレゼンテーションを行い、その後質疑発表がありました。どの発表も非常に深く練られており、とても面白く興味を惹く発表ばかりでした。



次のページに続く

2024年6月22日

### 模擬授業：上野先生

6月13日（木）に、岐阜県立恵那高等学校 2年生総合探究「地域社会人からの提言」の教育分野において、模擬授業等を行いました。「教育分野」の選択者それぞれが自分自身が興味あること、課題としていることなどを事前に調べ、その質問等に対して答えをいきながら、深めていくという活動を行いました。短い時間の中でしたが、とても中身の濃いディスカッションができ、有意義な時間となりました。生徒たちはこれをもとに自分たちの研究をさらに深めていくようでした。



2024年6月20日

### 卒業生との交流会－第1報：教育学会

教育学会では、在学生在に今後の学生生活を充実してもらうこと、将来へのモチベーションを高めてもらう（不安を払拭してもらう）ことを目的として、2024年8月3日（土）に、教育学部卒業生との交流会を企画しています。現在、教員として活躍している卒業生だけでなく、さまざまな分野で活躍している卒業生をお招きし、学生生活で大切にしてきたことや頑張ったこと、現在の仕事のやりがい、人生観などを語ってもらったり、皆さんからの質問に答えてもらったりして交流するイベントです。

詳細は、学部案内ページ、または[こちら](#)から。

ただいま調整中のところがあります。確定次第、順次アナウンスをしていきます。

2024年6月19日

教育学会講演会のお知らせ

2024年12月14日（土）に教育学会講演会が開催されます。

ゲスト講師として竹林正樹氏にご講演いただきます。

詳細はこちらから。

皇學館大学  
KOGAKKAN UNIVERSITY  
皇學館大学教育学会



**竹林 正樹 氏**

**講演会**

**Profile**  
百森大学 客員教授  
青森県立保健大学 非常勤講師・客員研究員  
株式会社キャンリス キャン 顧問  
横浜市行動デザインチーム (YBIT) アドバイザー  
OZMA Nudge Social Design Unit アドバイザー  
デジタル「本」メディアの「TV」出演

**演題（仮）** 教育とNUDGE（ナッジ）

**日時** 2024年12月14日（土）  
**16:00~17:30**（15:30開場予定）

**会場** □□□□教室（只今、調整中）

**参加申込  
参加費** 不要

**お問い合わせ** 皇學館大学教育学部 健康科学研究室 川山祐高（健康科学研究部会）  
katayama@kogakkan-u.ac.jp

次のページに続く

2024年6月4日

今年もはじまりました。津市親子で料理を楽しむ教室：家庭科教育ゼミ

家庭科教育ゼミでは毎年津市教育委員会の依頼を受け、津市中央公民館で毎月1回「親子で楽しむ料理教室」を行っています。本年度の第1回を、6月1日（土）に開催しました。

本年度は皇學館大学おかげキャンパスプロジェクトという事業で「みえのお米とお茶ええやんプロジェクト」が採択され、毎回三重の米と伊勢茶にちなんだ献立を取り上げていく予定です。今回は松阪の深緑茶房の粉茶を使ったマドレーヌと三重のブランド米「結びの神」を使った三重のひじきをたっぷり使った炊き込みご飯を作りました。中には親子ではなくおじいちゃんと孫の組や、4歳の妹さんも参加する親子もあり、皆で和気あいあいと変化する食材に感動しながら、そして立ち込めるお茶とバターの香りにできあがりを楽しみにしながら料理をしました。できあがった料理は各家庭に持ち帰り、家族と共に楽しいひと時を過ごしてもらえるようにしています。



2024年6月4日

三重県立松阪商業高等学校2年生系統・分野別説明会（教育分野）：上野先生

2回にわたり、計18名に対して、教育分野の話、また入試やその後の進路について具体的に話しました。最後に、本学の入試を例に対策等についても簡単に触れさせていただき、みなさん熱心に聞いていただきました。

次のページに続く

2024年6月4日

## 鈴鹿高等学校1年生「総合的な探究の時間」についての基調講演&ガイダンス：上野先生

4月15日（月）に鈴鹿高等学校1年生（探究コース）70名に対して、「総合的な探究の時間」において、これから始まる「探究」についての講義を行いました。なぜ「探究」が大切なのか、そして、探究を通してどのような力を身に付けなければならないのかについて、昨年度の指導を踏まえながら具体的にお話しました。

これからは、個人で研究テーマを探し、具体的な探究に入ります。また、そのアドバイスに数理教育コースの学生がチューターとして関わらせていただく予定です。



2024年5月1日

## 今年も FC. ISE-SHIMA に協力しています：健康科学研究室

今年も FC. ISE-SHIMA の大会イベント

(<https://fc-iseshima.org/news/22337>)

に協力しています。皆さんも、どうぞ試合会場に足を運んでクイズ大会に参加してみてください。

**1. QRコードを探す**  
会場のどこかにQRコードが隠れているぞ！  
※駐車場など危険なところにはありません

**2. クイズに参加する**  
問題は3問  
毎試合、皇學館大学教育学部健康科学研究室内の学生が作成しています。

**3. 解答を送信する**

**4. 賞品があたるかも!?**  
全問正解した方の中から抽選で、賞品が当たる！  
たくさん試合を見れば、賞品がもらえる確率アップ！

### 注意事項（ルール）

- ・解答締切（試合当日の23:59）まで何度もチャレンジしてOK。ただし、複数回、解答を送信した場合は、一番新しい最後に送信した解答を採用します。
- ・誹謗・中傷、差別するような反社会的で不快な表現・内容のニックネームの登録は控えましょう。
- ・同一人物が他人を装って複数の解答を送ることは止めてください。
- ・このクイズに関する問合せについては受け付けません。また、FC.ISE-SHIMAや皇學館大学、皇學館大学教育学部に問合せしても回答できません。
- ・通信等にかかる費用は解答者ご自身でご負担ください。
- ・システム障害の発生などによって解答・送信できなくても、FC.ISE-SHIMAや皇學館大学、皇學館大学教育学部健康科学研究室では責任を負いません。
- ・個人情報（名前、メールアドレス、電話番号など）は連絡のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

2024年5月1日

## Maker Faire Kyoto 2024 で発表してきました

2024年4月27日28日、けいはんなオープンイノベーションセンターを会場に Maker Faire Kyoto 2024 が開催されました。

Maker Faire は 2006 年にカリフォルニアで始まったものづくりのコンベンションで、米国、イギリス、イタリア、日本をはじめ各国で実施されています。一般参加者を含め約 5000 名が参加した Maker Faire Kyoto 2024 ではロボット工学、3D 印刷、コンピューター、美術工芸品等各分野の関西地域の企業・大学・高専・ものづくりサークル・個人等 130 組が出展、発表と交流を行いました。

大杉成喜教授とゼミ所属の4年生伊藤海都さん、庄司衣吹さん、大江泰聖さん、福井陽之さんは、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）「視線入力を活用した重度身体障害児者の遠隔 eSports 参加による自己肯定感の向上（基盤研究(C)（一般）21K12776：研究代表者・大杉成喜）」の成果の一部の発表・普及として「視線入力で e スポーツ」をテーマに展示・体験コーナーを実施しました。会場では様々な大学・企業の Maker の皆様と意見交流を行い、また、参観された重度身体障害（SMA）当事者にも試用をしていただきました。学生達にとっては、技術者の方々からご質問、ご意見をいただいたことで、自分自身の研究を深める良い機会となりました。 <https://makezine.jp/event/mfk2024/>

※出展者全体写真は主催者よりご提供いただきました。「写真提供：株式会社オライリー・ジャパン／撮影：ただ（ゆかい）様」のクレジット記載を条件に報告での利用許可をいただいております。

※SMA 当事者との記念写真はご本人・御家族のご了承をいただいております。



2024年4月15日

第20回数学総合若手研究集会にて上野祐一先生が講演しました

3月4日（月）～8日（金）に北海道大学理学部にて行われた第20回数学総合若手研究集会にて「モノドロミー保存変形の正則性による量子化」というタイトルで講演を行いました。当日は多くの若手研究者で活発な議論がなされました。詳細につきましては以下のHPをご覧ください。 <https://www.math.sci.hokudai.ac.jp/~wakate/mcyr/2024/ja/index.html>

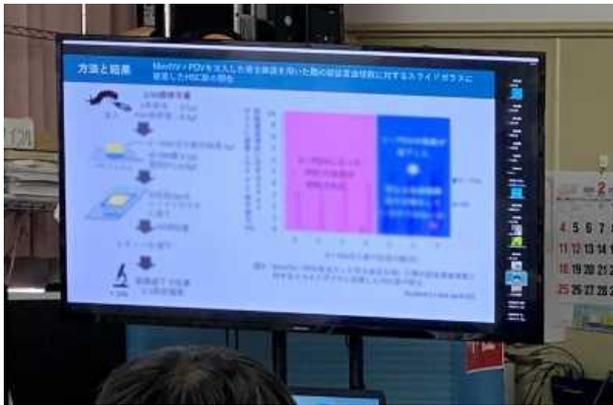


次のページに続く

2024年4月15日

## 東海昆虫研究会にて本学学生が口頭発表を行いました

2024年3月2日に東海昆虫研究会がオンラインで開催され、本学教育学部4年生の家田惟梨さんと修士課程1年生の二宮功至さんが口頭発表を行いました。内部捕食寄生蜂ヨトウオオサムライコムバチやの免疫制御や複数種の寄生蜂の内部競争についての研究の成果を発表し、参加者から貴重な意見を頂きました。今後も先輩に続いて後輩たちが学会等で研究成果を発表してくれることを期待しています。



2024年4月9日

## 入学式神宮参拝

教育学部新生は、入学式の一環で、神宮参拝をおこないました。早朝は大雨だったので雨の中の参拝になるかと心配されましたが、外宮に向かう頃には雨もやみ、無事に外宮と内宮に参拝ができました。内宮では御垣内での参拝をしました。御垣内での参拝はなかなか経験できるものではなく、教育学部生が次に経験できるのは、卒業式くらいです。（御垣内での撮影はできないので写真はありません）

いよいよ明日から本格的に授業が始まります。



2024年4月4日

フィールドワーク⑤：特別支援教育工学ゼミ

特別支援教育工学ゼミは、韓国のソウルへフィールドワークへ行き、現地の学校を訪問しました。

学校訪問前日から姜慶淑先生、金圭一先生、金容漢先生、具本京先生がサポートして下さり、事前に韓国の教育制度の到達点と課題についてあらかじめ学んだ上で学校訪問を行うことができました。

2月26日は音楽教育ゼミと合同で学校訪問を行い、訪問した義王ジョンウム学校と中央キド初等学校は新学期前の準備で忙しい中大変丁寧な対応をしていただきました。学生達も積極的に質問し、「学ぶ意識が高い」とお褒めの言葉をいただきました。

教員を目指す学生たちにとって有意義な訪問調査となりました。



次のページに続く

2024年4月4日

フィールドワーク④：音楽教育ゼミ

音楽教育ゼミは、韓国のソウルへフィールドワークへ行きました。

初日の2月24日には、特別支援教育学ゼミと家庭科教育ゼミと合同で、韓国の舞台芸術作品である『NANTA』を観劇しました。パフォーマンスは韓国の打楽器による伝統的な音楽「サムルノリ」に基づいているのですが、伝統芸能とはいえ全く堅苦しきのないステージでした。セリフが無く、言葉がわからなくても楽しめる工夫が凝らされており、コミカルなストーリーに爆笑しながら楽しみました。



次のページに続く

2024年4月3日

入学式

本日は令和6年度入学式でした。あいにくの天気となりましたが、満開に近い桜の花が、新入生を迎えてくれました。



2024年3月27日

桜の開花

本日2024年3月27日、学内の桜が開花しました。入学式には満開かもしれません。



次のページに続く

2024年3月25日

「第5回私たちの未来のための提言コンテスト」入選：社会科教育学ゼミ

社会科教育学ゼミでは、原子力発電環境整備機構（NUMO）が主催する「第5回私たちの未来のための提言コンテスト」に取り組みました。コンテストのテーマは、「どうしたら、高レベル放射性廃棄物の課題を多くの人たちが自分ごととして考えるようになるか？あなた（たち）は何をしますか？」です。

原子力発電の是非や、原子力発電から生まれた高レベル放射性廃棄物の処理方法については、様々な議論がなされています。これは、科学的な知識が求められると同時に、社会的な判断力、意思決定力、合意形成力が求められる問題です。脱炭素社会を目指すために、避けては通れない議論として本ゼミでは、エネルギー問題について学習を続けてきました。その成果として、コンテストに応募した結果、4名（3年生3名、2年生1名）が入選を果たしました。この成果を基にさらに学習を進め、来年度は入賞を目指して取り組んでいきたいと思えます。



次のページに続く

2024年3月19日

令和5年度卒業式

昨日、2024年3月18日（月）は卒業式・学位授与式でした。本学の卒業式は、学位授与式の前に外宮へ参拝。次に、内宮では本学ならではの参拝（これが経験できるのは卒業式のみです。参拝中は撮影ができませんので写真はありせん）。その後、大学の講堂にて学位授与式でした。この学年は、コロナ禍で通常の入学式ができず、本学らしい行事もなかったため、御垣内での参拝は特別なものになったのではないのでしょうか。

いろいろあった4年間でしたが、例年に勝るとも劣らない、立派な学生でした。進路先でもきっと大活躍してくれると期待しています。



次のページに続く

2024年3月14日

フィールドワーク③：健康科学研究室

2024年3月5日から8日までの4日間、北海道・札幌市へフィールドワークに行ってきました。本研究室は、健康、スポーツ・運動、食事・栄養などをテーマに研究活動をしているので、1972年に開催された札幌冬季オリンピックの名残やウィンタースポーツの体験、を目的としたフィールドワークでした。

具体的な活動内容は次の通りです。北海道神宮で正式参拝（拝殿に入って参拝しました）。まずはここで、精神・心の健康づくりを。三重では真っ白の雪で覆われた神社を見るのがほとんどないので、とても素敵でした。大倉山ジャンプ競技場の見学。リフトに乗ってジャンプ台最上部の展望デッキへ上がり、あまりの高さとジャンプ台の急な斜面を見ると、スキージャンプ選手がいかに凄いことをしているかが分かります。テネスキースキー場ではスノーボード等のウィンタースポーツを体験。テネスキースキー場は札幌オリンピック・スキー競技（スラロームとジャイアント・スラロームの競技が行われ、ゲレンデ・コースの名前として残っています）のメイン会場でした。今も聖火台やオリンピック五輪マークが場内に残っています。食事は、北海道産の食材や北海道で有名な寿司・海鮮、ラーメン、ジンギスカン、スイーツなどを堪能。毎晩、メのラーメンを食べに行った強者も（寒空の中、有名店で1時間並んだそうです）。それから、雪道で滑って転ばないように歩くトレーニングを毎日1時間以上。身体活動量もバッチリ確保してきました。健康科学研究室らしいフィールドワークになりました。



2024年3月12日

日本健康支援学会年次学術大会へ参加：健康科学研究室

2024年3月2・3日の2日間、中京大学（名古屋キャンパス）で開催された、第25回日本健康支援学会年次学術大会（大会長：中京大学 重松良祐先生）に2名の3年生学生が参加し、健康に関わるシンポジウムや教育講演、一般発表（口頭発表、ポスター発表）を聴講してきました。例年、この学術大会ではたくさんの大学院生や大学院進学予定の学部4年生が一般発表をしています。今年はなんと学部3年生による研究発表（口頭発表）もあり、発表者と同学年である参加した2名の本学学生はとても大きな衝撃を受けたそうです。卒論に向けてのモチベーションも高まったようです。参加者数は2日間で延べ140名弱ほどの小さな大会のため、これから研究を始めようという学生には勉強するのにちょうど良い機会だと思います。来年は東京で開催予定のようです。なお、本学教員（健康科学研究室）片山が大会事務局長を務めました。



次のページに続く

2024年3月9日

体育実技（野外活動）の冬実習を終えました

令和5年度から開講されました体育実技(野外活動)の冬実習が開催されました。期間は令和6年2月12日～15日、場所は志賀高原一の瀬スキー場をベースに行われました。

前半の2日間はスキーやスノーボードを体験、後半は雪上活動という日程です。スキーやスノーボード体験では初めての学生も多くいましたが、ある程度滑ることができるようになりました。また雪上活動では雪を使って雪像を作ったり、イグルーというかまぐらのような雪の家を作って、その中でティータイムを過ごしたりしました。フワフワの雪を使って思い切り雪遊びができたことは、学生にとっても意義ある経験になったのではないかと思います。



〈スキーも楽しく〉



〈ナイタースキーを満喫〉



〈雪像の完成〉



〈雪像とイグルー〉



〈イグルーの中でティータイム〉



〈みんなで雪にダイブ！〉

2024年3月9日

4シーズンキャンプのまとめのキャンプを実施：体育運動方法学ゼミ

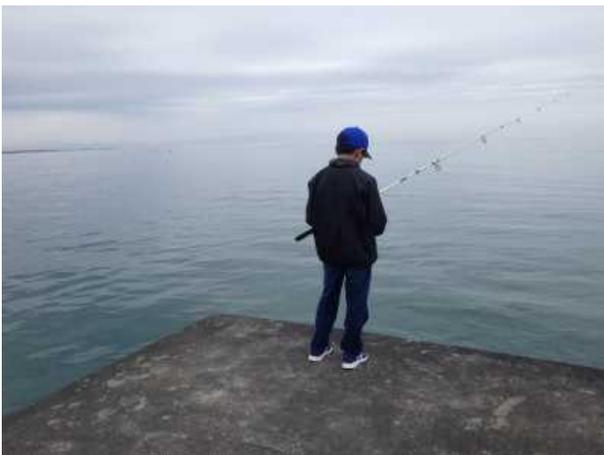
季節ごとにキャンプを行って、子どもたちの成長を促していこうとした4シーズンキャンプ。4つのキャンプは実施されましたが、そのうちの2つのキャンプで子どもたちが揃わなかったこともあり、まとめのキャンプを実施することになりました。 時期は令和6年2月17日ー18日、場所は大淀西海岸ムーンビーチキャンプ場です。今回は釣りをメインにしたキャンプ。釣果はありませんでしたが、子どもたちは釣りに、バーベキューと楽しんでくれました。大学に戻ってからは、これまでのキャンプを振り返る映像を流しながら、保護者の方にもキャンプの様子をお知らせすることができました。 今回は初めての試みになりましたが、来年度も続けていこうと学生共々気合いを入れています。



村松港で釣り



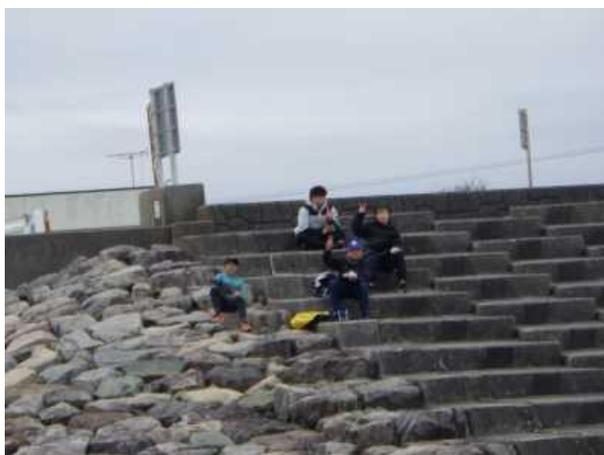
上手く投げれるか？



なかなか釣れない



海岸で石投げ



〈みんなでお昼〉



〈大学で振り返り〉

2024年3月9日

フィールドワーク②：教育史学ゼミ

令和6年2月26日（月）から29日（木）までの4日間、教育史学ゼミはフィールドワークを実施しました（道徳教育ゼミと合同）。1日目は広島市に向かい、原爆ドーム、平和公園、広島平和記念資料館を訪問。原子爆弾による被害と惨状に言葉を失いました。衝撃的な内容に思考停止することなく、歴史の再検証が必要でしょう。

2日目はフェリーで宮島に渡り、厳島神社を正式参拝。特別に宝物も拝観させていただきました。海上にあるため、社殿や回廊、舞台などの修繕と維持にかかる労苦、神職業務の過酷さが偲ばれました。午後は広島城、おりづるタワーなどを散策しました。

3日目はシュモアハウスを経由して、海上自衛隊呉史料館と大和ミュージアムに移動。防衛の最前線事情を知る貴重な機会となりました。日本近海を漂流する機雷の撤去は現在も行われており、人知れず国土が守られています。平穏に生活できることに感謝した次第です。広島で、戦争と平和について深く考えることができました。夕方には倉敷市に到着。レトロで、趣のあるホテルが出迎えてくれました。

4日目は大原美術館で名画を鑑賞、そして大原本邸を見学しました。大原孫三郎（1880-1943）の地元経済界への貢献、社会事業、教育・文化の振興など、幅広い活動に頭が下がります。実は、宿泊先も大原家に縁あるホテルでした。美観地区だけでなく地域全体が大原家の恩恵を受けて発展していました。いずれの訪問施設でも丁寧な説明を受けることができ、実りある研修となりました。



〈慰霊〉



〈美しい寝殿造り〉



〈おりづるタワーで折鶴〉



〈潜水艦！〉



〈大原氏の足跡〉



〈楽しいゼミ交流の夜〉

2024年3月9日

皇學館中学校3年生「数学研究」成果発表会（2月21日、29日）：数学教育ゼミ

これまでの研究「フィボナッチ数列」について、7グループが発表を行いました。発表時間5分間、その後、評価・質疑応答5分間という流れで進めていきました。どのグループもフィボナッチ数列から黄金比、白銀比などの関連した内容、また実際にパイナップルや学校内にあ  
るフィボナッチ数に関係するものを用いながら 実験→検証→考察をしていました。チューターとして関わった学生にとっても有意義な時間になったと思います。

2024年3月9日

鈴鹿高等学校1年生「総合的な探究の時間」：数学教育ゼミ

2023年12～2024年2月にかけて鈴鹿高等学校1年生「総合的な探究」の時間にアドバイザーとして、参加させていただきました。また、2月には数理教育コースの1年生もチューターとして、探究活動のお手伝いをさせていただきました（写真③④）2月22日（木）にはこれまでの成果発表会が開催されました。学生たちもポスター発表に加わり、積極的に質疑応答に参加していました。これからますます進んでいく探究活動です。このような経験を大切にしたいと思います。



2024年3月9日

## フィードバック①：保健体育科教育ゼミ

フィールドワークに行ってきました：保健体育科教育学ゼミ

令和6年2月25日～27日にかけて、太宰府天満宮参拝、ハウステンボスへ行ってきました。菅原道真公にご縁の深い“25”日に、道真公が薨去（こうきよ）なされてから1125年となる節目の令和9年を迎えるにあたり設けられた仮殿にて正式参拝をいたしました。4月より最終学年を迎える学生も、心を新たにしたいと思えます。ハウステンボスでは“おもてなし”について学んできました。人をもてなすにはどのような気配りが求められるのか、多くのことを学んだことと思えます。



2024年2月27日

## 体育実技（スキー・スノーボード）

2024年2月12日～16日にかけて、長野県・志賀高原スキー場で体育実技（スキー・スノーボード）の授業をおこないました。例年になく暖かく、晴天が続き、とても良いコンディションの中、実施できました。わずか4日間の授業でしたが、スキー・スノーボード初心者も、約30度もあるスロープを余裕で滑れるようになるまで上達しました。他大学からもたくさんのスキー実習に来ており、競争心が沸いたことも上達に貢献したのかも？さて、諸事情もあり、12年ほど続いたこのスキー・スノーボード実習は今年で終了。ホテルホウルス志賀高原様、志賀高原スキー場関係者様、多くの方々にお世話になりました。おかげさまで、大きな事故・事件も無く、実習に参加した学生は、かけがえのない素晴らしい経験と学修ができました（実習後、バッジテストを受けに行ったり、スキー・スノーボード旅行をしたりしている学生・卒業生がいます）。本学学生の教育にご尽力いただき、誠にありがとうございました。



2024年2月27日

日本生物教育学会第108回全国大会に参加しました

2024年1月6日、7日に神奈川大学で日本生物教育学会第108回全国大会が行われ、本学の大学院生・学部生がワークショップを行いました。

「観察・実験教材としてのアワヨトウ -循環器系-」と題して、チョウ目昆虫であるアワヨトウの幼虫を使用し、アマランス水溶液と蛍光インクを体腔中に注入して背脈管を流れる血リンパの観察と、メチレンブルー水溶液で翼状筋を染色して翼状筋の収縮と弛緩にともなう背脈管の拍動も併せて紹介しました。また、本学非常勤講師の奥村雄暉氏、他4名は「観察・実験としてのアワヨトウ -消化器系・排出器系・呼吸器系-」と題して、アワヨトウ幼虫を解剖し、昆虫の消化器系および排出器系、呼吸器系を観察し、ヒトとの共通性を探る教材を紹介しました。

いずれも大変好評で全国の高等学校の先生方や大学生、大学教員に向けて情報を発信することができ、学生にとって貴重な経験となりました。



次のページに続く

2024年2月27日

令和5年度ミエムとの連携事業「お茶をいれてあられを煎ろう」体験

テーマ：お茶をいれてあられを煎ろう

日時：令和6年2月18日

参加者：学生13名 参加者44名

内容：

1. 学生による伊勢茶レクチャー（パワーポイント作成）
2. 学生作成動画「伊勢茶の入れ方」
3. お茶を入れる体験・津市のお菓子と共に味わう
4. あられ煎り
5. マイボトル作り
6. まとめ

三重県総合博物館との連携事業として、お茶をいれてあられを煎ろうという親子向け体験を2月18日（日）に開催しました。当日は、親子44名が参加し、学生による伊勢茶プレゼンテーションや伊勢茶クイズ、お茶を入れる動画を観た後、参加者がお茶を量って急須に入れ、伊勢茶を入れる体験をした。（伊勢茶は、深蒸し煎茶を利用）

いずれの親子もお茶を量り、熱いお湯を急須に入れるところすべてを子どもたちが担っていました。子どもたちはドキドキしながらも、楽しそうに初めて(?)の茶葉からお茶をいれる体験に臨んでいました。茶葉は深蒸し茶という味が濃いお茶を使用したので子どもたちにとって少し苦いかと予想していましたが、いずれの子どもたちも一口飲むと「おいしい」と笑顔があふれ、二煎目を何杯も飲む子どもたちがいました。

お茶に合う三重のお菓子、平次煎餅と井村屋のお菓子も提供し、最後は学生が提案した「おちゃっぴい」という伊勢茶PRのためのキャラクターシールを使って「マイボトル」を作り、好評のうちに終了しました。伊勢茶のことや平次煎餅について知らない家族も多く、あらためてこういったイベントで、お茶も含め広報して「まずは知ってもらうこと」が大切だと改めて感じました。



2024年2月21日

皇學館中学校3年生「数学研究」：数学教育ゼミ

1月17日（水）・31日（水）に皇學館中学校3年生「数学研究」にて、3年ゼミ生と共に「身近になるフィボナッチ数列」というテーマで7グループに分かれて探究活動を行いました。文献検索だけでなく、実際に学校の内外にあるものを探したり、実際に描いてみた  
り・・・様々な方法で身近に潜んでいるフィボナッチ数列について調べていました。

2月の末には、成果発表会を予定しています。



次のページに続く

2024年2月5日

## 4シーズンキャンプの冬キャンプを実施：体育運動方法学ゼミ

季節ごとにキャンプを行う4シーズンキャンプの冬キャンプを実施しました。今回のキャンプは伊勢本街道を歩いて伊勢神宮に参拝するという内容です。コースは相可駅をスタートして西池上→玉城→外宮→内宮と歩いていきました。時期は1月6-8日の2泊3日です。

初日は相可駅から伊勢本街道に入り、西池上の常夜燈、切り通しから田丸神社、田丸城址を通過して玉城町水辺の楽校でテント泊。2日目は水辺の楽校から外宮→古市街道→内宮と歩いて伊勢修養団で宿泊。3日目は赤福本店に寄ってから皇學館大学まで歩いてきました。天候にも恵まれて、気持ちよく歩くことができました。

子どもの参加が1名になったのが残念でしたが、「昔の人が伊勢神宮に向かう気持ちを少し感じられた」と話していました。春夏秋冬のキャンプに参加した子どもたちの成長を支えることができたことは学生にとっても意義あることだったと感じています。



伊勢本街道へ



西池上の常夜燈



切り通しを歩く



田丸城址にて



水辺の楽校でキャンプ



赤福本店にて

1/25（木）、皇學館大学教育学会コーチング学研究部会講演会として、本学記念講堂にて「大学生とギャンブル依存症 - 教員を目指す君たちへ-」と題して、ギャンブル依存症問題を考える会理事である、山本大地先生にご講演を賜りました。この事を知って「先生になる・社会に出る学生」が増えれば、今後、少しでも世の中のギャンブル依存症に関連する被害や社会的な損害が減るのではないかと思います。講演内容でした。



次のページに続く

三重大学医学部附属病院が主催する小児がんの子どもとご家族の支援を目的とした「どんぐりキャンプ」に学生ボランティアとして参加してきました。

このキャンプには、小児がん経験者が他の仲間と交流し病気の理解を深めることや、小児がん経験者が学生ボランティアと時間を共有することにより豊かな人間関係を築き、自分の将来を考えること、他の家族と交流し家族の役割を考えることなどの目的があります。

今年度は松阪森林公園で行われ、私たちは学生ボランティアとして、芝生広場で運動あそびをサポートしたり、トートバッグとガーランドの製作をしたり、ヨーヨー釣りやわなげ、射的などの縁日をしたりして、参加者と交流しました。どのブースも参加した子どもたちに喜ばれ、大盛況でした。

参加した学生たちも、事前学習として小児がんについての勉強をしたり、どうやったら楽しんでもらえるかなど、準備から積極的に取り組み、当日は子どもたちと一緒に遊んだり交流して楽しい時間を過ごせました。



次のページに続く

2024年1月18日

## 皇學館中学校生徒と伊勢ギークフェア 2023 に参加・展示：教育学会特別支援教育 AT 研究会

2023年12月10日に皇學館中学校生徒と伊勢ギークフェア 2023 に参加しました。伊勢ギークフェアは地元伊勢市の市民活動団体「伊勢ギーク・フェア実行委員会」が主催するものづくりのイベントで、毎年12月にシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）2F 展示室で実施されています。 <https://igfaire.office-kuma.com/>

教育学会特別支援教育 AT 研究会としては2018年から毎年参加・展示してきました。今年は、連携している皇學館中学校未来理工部の中学生とともに、試作したものを展示・体験コーナーを運営しました。定番の「視線入力でマリオカート8」のほか、トイドローンや拡張Scratchによる外部機器制御など、楽しい展示ができました。画像認識やロボット操作、音楽の変換など、技術力の高い伊勢の発表者・参加者の皆さんからいろいろアドバイスもいただきました。



次のページに続く

2024年1月16日

## 小学校教員採用試験対策勉強会「つばさ」活動が本格化

12月から教員採用試験の二次試験に向けて「つばさ」の活動が本格的に始動しました。参加している学生は積極的に模擬授業を行い、お互いに良い点や改善点を指摘し合っています。冬休みも熱心な学生たちが集まり、白熱した討論が繰り広げられました。

春休みは教員採用試験の対策をするための絶好のチャンスです。今後の成長に大いに期待しています。

今後の活動の予定

1月20日(土) 9:30~11:00 場所: 722 教室

1月27日(土) 9:30~11:00 場所: 722 教室

2月8日(木) 9:30~11:00 場所: 722 教室

2月16日(金) 9:30~11:00 場所: 722 教室

3月4日(月) 9:30~11:00 場所: 722 教室

3月11日(月) 9:30~11:00 場所: 622 教室

3月21日(木) 9:30~11:00 場所: 722 教室



次のページに続く

2024年1月15日

令和5年度第2回数学教育研究部会

2024年1月11日(水)に、立命館宇治中学・高等学校 数学科教諭 酒井淳平先生をお招きし、『これからの数学の授業作り～新学習指導要領・AIの時代に必要な生徒が思考する授業～』というタイトルでお話いただきました。当日は数理教育コースの1年生から、数学教育学ゼミの2年～4年生まで参加し、数学の話題だけでなく他の教科の授業作りにもとても参考になるお話をさせていただきました。



2024年1月15日

伊勢市まるこ幼稚園での活動：数学教育ゼミ

2023年12月19日(火)に伊勢市のまるこ幼稚園にて4年のゼミ生が創作したオリジナル教具を用いて活動を行いました。これは数の敏感期の子どもに興味を持ってもらえる、そして、「現物・数詞・数字」の一致を目指し楽しく活動を行うことを目的に実施しました。当日は年長組の教室で、園児たちは遊びながらも数字に触れて遊び感覚でパズルを行っていました。



次のページに続く

2024年1月15日

鹿屋体育大学4年生教職実践演習での講演かつスポーツ施設見学：上野祐一先生（数学）

2023年12月20日（水）、鹿児島にある鹿屋体育大にて4年生の教職実践演習に一环として、「対人関係（対教員、対生徒、対保護者）について」というテーマでお話をさせていただきました。またその後、鹿屋体育大学にある立派な施設を見学させていただきました。



2024年1月15日

模擬講義：上野祐一先生（数学）

皇學館中学校（2023年12月13日（水））、鈴鹿高等学校（2023年12月14日（木））、三重県立四日市西高等学校（2023年12月15日（金）、18日（月））、三重県立木本高等学校（2023年12月19日（火））の各学校におきまして、探究をテーマとした模擬講義、講演を行いました。今、なぜ探究が大切なのかということ、これからの社会が求める人物像、今抱えている課題などをもとにお話をさせていただきました。

寒風吹きすさぶ年の瀬に、クラス会（年に2～3回の頻度で、学年全体で集まり、大切な連絡事項を伝えたり、親睦を深めたりする会）を開催しました。春の修学指導以降、学年全体で顔を合わせました。充実した大学生活を送る一方で、将来の進路を決断する重要な岐路に3年生は立っています。就職活動に向き合うにあたり、教育学部長、教職課程・保育士資格部会長、就職支援担当職員から激励や各種の採用試験の説明、具体的な助言を頂戴しました。これから1年間が、卒業後の人生を決める正念場となります。一人ひとりが将来の夢を実現すべく、努力してくれることを期待しています。

この数年、コロナ禍のために何もイベントができない状況が続いていました。本会最後にレクリエーションをしてクラス全体で交流しました。



〈久しぶり！〉



〈激励〉



〈面白くもシビアな話〉



〈しっかり聞いている？〉



〈誰が勝つだろう〉



〈記念写真〉

2024年1月8日

令和5年度 第3回社会科教育研究部会

2023年12月16日に第3回社会科教育研究部会を実施しました。今回も現場の先生をお迎えして、エネルギー環境教育の模擬授業を行っていただきました。今回の授業は、エネルギー問題において意見の対立が起こった場合、どのように合意形成を図るか考えるといったものでした。エネルギー問題における意見対立は、生活に直結するものであり、合意形成は容易ではありません。模擬授業では、学生たちがグループに分かれ、それぞれが思い描く未来の社会像を、様々な表現方法を用いて交流するという活動を行いました。学生たちは、スマートフォンで動画を撮影して流したり、パワーポイントを使って発表したり、劇を作って演じるなど、様々な方法で思い描く未来の社会像を交流していました。模擬授業の終末では、それらの社会像の共通点を見つけ、互いに合意できるポイントを探すといった活動を行いました。

